

「長野北の地域連携」

府立長野北高等学校
校長 木村 重房

1 発表の趣旨

- (1) 主役は生徒である。
- (2) 校長の仕事は教育管理と物的管理と人的管理、3つは密接な関係がある。
- (3) 教育のプロセスを可視化することが重要である。
- (4) 最も長野北高校が力を入れて取組んだのは人材育成である。
- (5) 上記4つに取組んだ上での地域連携である。

2 発表の概要

(1) はじめに

- ア 最近の教育委員会主催研修から感じたこと
- イ 3年前からの変化
- ウ 教頭時代の体験（平成18年度）から
- エ 自分の保健体育科教員としての体験（昭和49年から平成15年）から

(2) 地域連携の具体的な取組内容

- ①愛さつ運動（あいあい通りモニュメントと千代田駅前での幼・小・中・高の合同運動と日々の活動）
- ②読み聞かせ・音楽の発信
- ③花の発信
- ④加賀田フェスティバル
- ⑤千代田バラエティフェスタ
- ⑥長野ほのぼのフェスタ
- ⑦河内長野市イングリッシュフェスティバル
- ⑧地域連携ナガキタ自主研修
- ⑨楽習室（小学校への出前授業と河内長野市公民館との連携事業）
- ⑩出前ウォール・シャッターペイント
- ⑪地域への開放講座
- ⑫ナガキタ・カップ（バスケット）
- ⑬河内長野市社会教育委員会
- ⑭河内長野市人権委員会
- ⑮富田林市人権講座への講師派遣
- ⑯河内長野警察等との連携
- ⑰掲示板等へのポスター発信
- ⑱地域連携クリーンキャンペーン（清掃活動）
- ⑳小学校水泳教室
- ㉑青少年健全育成会 等

(3) 長野北がめざすもの

(4) リサーチの重要性

勤務時間内外の対話によるリサーチ

(5) 私が大切にしているもの

- ア 「あきらめなければ終わらない」
- イ システムズ・アプローチ（一部分が変化すると結果として全体が変化する？）
- ウ 気づきの体験（気づきを与える参加体験型研修）

3 まとめ

- (1) 小さな変化の積み重ね
- (2) 可視化することで、結果として教育の質は向上する。
- (3) 感謝（生徒、PTA、同窓会、教職員、教育委員会事務局、地域、両親）
- (4) 今後の長野北の地域連携